



平成25年3月期 第4四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年3月4日

上場会社名 株式会社サガミチェーン 上場取引所 東・名  
 コード番号 9900 URL <http://www.sagami.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鎌田 敏行  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理担当 (氏名) 長屋 昇 (TEL) 052(771)2126  
 四半期報告書提出予定日 平成25年3月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第4四半期の連結業績(平成24年1月21日～平成25年1月20日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第4四半期	19,153	—	651	—	666	—	497	—
24年1月期	19,561	△2.8	43	—	46	—	△742	—

(注) 包括利益 25年3月期第4四半期 648百万円( —%) 24年1月期 △815百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第4四半期	20.41	—
24年1月期	△30.44	—

(注) 当連結会計年度より、会計方針を一部変更しております。詳細は3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。また、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号)に基づき、前年同期については各財務諸表数値に対して遡及処理を行っております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第4四半期	15,224	9,986	65.5
24年1月期	15,078	9,324	61.8

(参考) 自己資本 25年3月期第4四半期 9,972百万円 24年1月期 9,324百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年1月期	—	0.00	—	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	0.00	0.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
 2. 当社は決算期を1月20日から3月31日に変更しております。このため、決算期変更の経過期間となる平成25年3月期は14ヶ月11日間の変則決算となります。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年1月21日～平成25年3月31日)

(%表示は、第4四半期(累計)の対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,600	—	280	—	270	—	160	—	6.56

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無  
 2. 平成25年3月期は決算期変更の経過期間となることから、通期については14ヶ月11日間(平成24年1月21日～平成25年3月31日)の業績予想を記載しております。このため、通期の対前年増減率は記載していません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期4Q	24,972,784 株	24年1月期	24,972,784 株
25年3月期4Q	593,729 株	24年1月期	591,418 株
25年3月期4Q	24,380,387 株	24年1月期	24,382,589 株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. (3) 連結業績予想に関する定性情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）連結経営成績に関する定性的情報	2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	2
（3）連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
（1）四半期連結貸借対照表	4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
（4）継続企業の前提に関する注記	9
（5）セグメント情報等	10
（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
（7）重要な後発事象	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第4四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要を下支えに緩やかな回復傾向が続いており、政権交代に伴う経済政策への期待による円安・株高の動きがある一方、欧米の財政問題や新興国の成長鈍化などを背景に、海外経済では依然として懸念材料が残っており、先行きについては不透明な状況が続いております。

外食産業につきましても、景気回復と連動する形で緩やかに外食支出は回復してきておりますが、お客様の低価格志向の定着、中食需要の高まりなど小売業を巻き込んでの食市場の争奪戦となっております。

このような環境のもと当社グループは、お客様起点思考の視座を全社で堅持しながら、店舗の改革を進めると共に、期首より①「グループ経営強化」、②「科学的経営の推進」、③「研修制度の拡充」を柱に取り組んでまいりました。

当社主力業態であり「サガミ」の店名で親しまれております和食麺類部門につきましては、全店販売促進企画といたしまして「季節の料理フェア」を8回と「大感謝祭」を3回、更には愛知・三重・岐阜・奈良・静岡で「こだわりCM」を実施いたしました。これにより既存店客数は、前年同期比で0.8%減となりましたが、客単価が前年同期比2.3%増となったため、既存店売上高は、前年同期比1.5%増となりました。店舗関係では、丸源ラーメンへの業態転換として「河内天美店」を閉鎖、また契約満了により「安城店」を閉鎖いたしました。

セルフサービス方式のどんどん庵部門につきましては、「どんどん祭り」3回と「料理フェア」5回を実施いたしました。店舗関係では「まるど食堂上田楽店」を新業態として出店。不採算および業態転換のため、15店を閉鎖いたしました。

その他の部門につきましては、製麺大学で「大学祭」4回と「料理フェア」4回を実施し、あいそ家では、「感謝祭」1回と「料理フェア」3回を実施いたしました。店舗関係では、グループ内の業態転換として「丸源ラーメン河内天美店」及び「あいそ家平子橋店」、そして新業態である和風ビュッフェの「もんぺとくわ」、フランチエイジーとして「かつや愛知日進店」を新規出店いたしました。更に関東方面への認知度アップを目的に、東名高速道路上り線 新城パーキングエリア（愛知県 新城市）に「陣屋サガミ」を7日13日にオープンいたしました。サガミグループとして初めての高速道路への出店となります。11月28日には東京青山に「盛賀美青山店」を出店いたしました。また中国上海では「延安西路店」の出店、「福州路店」の移転を行いました。一方で、国内で3店舗（あいそ家みよし店、あいそ家城山店、たい夢東浦店）、中国上海で2店舗（虹橋店、南京西路店）を閉鎖いたしました。

この結果、当第4四半期連結累計期間の業績は、売上高19,153百万円（前年同期比2.1%減）、営業利益は651百万円（前年同期比608百万円増）、経常利益は666百万円（前年同期比620百万円増）となりました。四半期純利益は497百万円（前年同期は742百万円の純損失）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第4四半期連結会計期間末の総資産は、15,224百万円と前連結会計年度末比146百万円の増加となりました。流動資産は前連結会計年度末比375百万円増加し3,971百万円、固定資産は229百万円減少し11,252百万円、流動負債は前連結会計年度末比257百万円増加し3,429百万円、固定負債は772百万円減少し1,809百万円、純資産は661百万円増加し9,986百万円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月1日に発表いたしました連結業績予想から修正はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

従来、販売費及び一般管理費に計上しておりました工場及び配送センターから店舗への配送費については、売上との直接的な対応関係を明確にし、売上総利益をより適正に表示するため、第1四半期連結会計期間より売上原価に計上しております。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については、遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前連結会計年度の損益に与える影響及び前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことによる、利益剰余金の前期首残高に与える影響は軽微であります。

### (4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日）を適用しております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年1月20日)	当第4四半期連結会計期間 (平成25年1月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,097,275	3,317,560
受取手形及び売掛金	85,679	113,171
有価証券	50,159	163,686
商品及び製品	63,426	54,047
原材料及び貯蔵品	145,522	189,839
その他	153,727	133,480
流動資産合計	3,595,791	3,971,786
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,873,036	1,873,068
機械装置及び運搬具（純額）	135,108	130,687
土地	6,195,652	6,159,243
その他（純額）	87,381	78,307
有形固定資産合計	8,291,179	8,241,307
無形固定資産		
投資その他の資産	152,021	132,154
投資有価証券	1,027,079	1,023,096
差入保証金	1,627,797	1,460,431
その他	418,337	408,200
貸倒引当金	△34,047	△12,250
投資その他の資産合計	3,039,167	2,879,479
固定資産合計	11,482,368	11,252,941
資産合計	15,078,159	15,224,727
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	544,636	551,260
短期借入金	410,000	410,000
1年内返済予定の長期借入金	566,100	1,065,315
未払金	1,134,910	947,002
未払法人税等	103,851	109,444
賞与引当金	28,964	25,280
店舗閉鎖損失引当金	76,006	1,853
資産除去債務	18,355	—
その他	289,138	318,970
流動負債合計	3,171,963	3,429,126

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成24年1月20日)	当第4四半期連結会計期間 (平成25年1月20日)
固定負債		
長期借入金	1,949,115	1,258,883
長期未払金	144,928	114,770
退職給付引当金	7,390	6,281
資産除去債務	321,797	311,614
その他	158,486	117,817
固定負債合計	2,581,718	1,809,366
負債合計	5,753,681	5,238,493
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,303,521	6,303,521
資本剰余金	7,256,905	3,405,791
利益剰余金	△3,481,092	867,614
自己株式	△567,318	△568,802
株主資本合計	9,512,015	10,008,124
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△152,710	△29,814
為替換算調整勘定	△34,827	△5,999
その他の包括利益累計額合計	△187,537	△35,813
少数株主持分	—	13,922
純資産合計	9,324,477	9,986,234
負債純資産合計	15,078,159	15,224,727

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第4四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第4四半期連結累計期間 (自平成24年1月21日 至平成25年1月20日)
売上高	19,153,683
売上原価	5,839,981
売上総利益	13,313,701
販売費及び一般管理費	12,661,876
営業利益	651,825
営業外収益	
受取利息	9,335
受取配当金	19,687
受取保険金	15,110
雑収入	27,650
営業外収益合計	71,784
営業外費用	
支払利息	43,480
雑損失	13,883
営業外費用合計	57,364
経常利益	666,244
特別利益	
固定資産売却益	7,018
その他	1,498
特別利益合計	8,517
特別損失	
固定資産売却損	1,215
固定資産除却損	41,044
減損損失	22,105
投資有価証券評価損	31,841
保険解約損	5,242
その他	6,997
特別損失合計	108,446
税金等調整前四半期純利益	566,314
法人税、住民税及び事業税	80,917
法人税等調整額	△9,821
法人税等合計	71,095
少数株主損益調整前四半期純利益	495,219
少数株主利益	△2,374
四半期純利益	497,593



四半期連結包括利益計算書  
第4四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第4四半期連結累計期間 (自平成24年1月21日 至平成25年1月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	495,219
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	122,896
為替換算調整勘定	30,352
その他の包括利益合計	153,248
四半期包括利益	648,467
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	649,317
少数株主に係る四半期包括利益	△850

## （3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

当第4四半期連結累計期間  
（自平成24年1月21日  
至平成25年1月20日）

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	566,314
減価償却費	365,170
減損損失	22,105
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△8,097
賞与引当金の増減額（△は減少）	△3,684
店舗閉鎖損失引当金の増減額（△は減少）	△74,153
受取利息及び受取配当金	△29,023
支払利息	43,480
固定資産売却損益（△は益）	△5,802
固定資産除却損	41,044
売上債権の増減額（△は増加）	△27,492
たな卸資産の増減額（△は増加）	△36,879
仕入債務の増減額（△は減少）	6,624
未払金の増減額（△は減少）	△168,102
投資有価証券評価損益（△は益）	31,841
その他	5,985
小計	729,331
利息及び配当金の受取額	26,560
利息の支払額	△43,150
法人税等の支払額	△82,768
営業活動によるキャッシュ・フロー	629,973
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△100,000
定期預金の払戻による収入	100,000
有形固定資産の取得による支出	△352,010
有形固定資産の売却による収入	46,217
投資有価証券の取得による支出	△63,055
投資有価証券の償還による収入	5,000
子会社株式の売却による収入	17,160
差入保証金の差入による支出	△44,886
差入保証金の回収による収入	126,492
その他	△1,677
投資活動によるキャッシュ・フロー	△266,758
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	400,000
長期借入金の返済による支出	△591,017
自己株式の取得による支出	△1,484
リース債務の返済による支出	△18,506
財務活動によるキャッシュ・フロー	△211,007
現金及び現金同等物に係る換算差額	28,241
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	180,447
現金及び現金同等物の期首残高	3,017,435
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,197,883

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社グループは、外食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

平成24年4月19日開催の第42期定時株主総会において、「第1号議案資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分の件」が可決され、会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金7,255,780千円のうち3,849,988千円を減少させ、その他資本剰余金に振り替えております。また、会社法第452条の規定に基づき、上記振り替え後のその他資本剰余金3,851,113千円の全部の金額及び別途積立金1,176,500千円並びに固定資産圧縮積立金14,859千円の全部の金額を減少させ繰越利益剰余金に振り替えております。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。